

保育室だより

11月30日 第13回

記入者 A. N

| | | | |
|------|-------|------|----|
| 欠席者名 | リクちゃん | | |
| 出席者数 | 17名 | 保育者名 | 4名 |

| 時間 | 子どもたちのようす |
|-------|---|
| 10:00 | <p>トモちゃんとユナちゃんは並んで、ままごとの食べ物をお皿にのせてお互いに見せあったり交換したりする。それから、トモちゃんが円柱の形の大積木を窓の下に運んで、縦に三つ積み重ねる。見ていたユナちゃんは窓の棧に手をかけて、三段に重ねた大積木の上によじのぼって座ってみるが、崩れてしまった。</p> <p>ハルトちゃんは、ミニカーをおもちゃ箱から両手に一つずつ持ってきてニコニコしながら保育者に見せる。「二つだね、いいねえ」と保育者が言うと、うなずいてまたおもちゃ箱のところから別のミニカーを二つ持って来て保育者に見せる。</p> <p>アイリちゃんとコウちゃんは向い合わせに座り、ソフトブロックのタイヤを積み重ねて、積み木のような遊びをしている。そのうち、ヒロちゃんが床にミニカーを走らせていて、そばに座っていたコウちゃんの足にギュッと押し当てるようにする。何度か押し当てているうちにコウちゃんが気づいて近くにあったミニカーを持ち、二人で腹ばいになってお互いにミニカーを走らせ始める。</p> <p>ヨウちゃんは大積木を窓の下に運んで来て重ね、外を見る。サクラちゃんもやってきて大積木に上って外を見る。近くで、レンちゃんとハナちゃんが、ピョンピョン飛び跳ねている。</p> <p>その足元ではソラちゃんが絵本を見ている。保育者が「ソラちゃん、なんの本みてるの?」と声をかけるとソラちゃんは、なに?という表情で保育者を見上げる。</p> <p>トモちゃんが、ダンプカーのおもちゃにままごとの食べ物をたくさんのおせて走らせ始める。アキちゃんもトモちゃんと同じようにして、トモちゃんの後ろについてダンプカーを走らせる。</p> |
| 10:20 | <p>ユカちゃんが遅れて入室する。ハナちゃんが駆け寄って「だいじょうぶ?」と聞く。サクラちゃんとハルトちゃんも、ユカちゃんのそばに行く。アイリちゃんは、ユカちゃんにおもちゃを渡し、「いっしょにおにぎり食べよう」と言う。ミサキちゃんは、ドアが開いたことに気づいて「ママー!」と言って泣き出すが、保育者にままごとに誘われると泣き止んでままごとをする。</p> <p>ココミちゃんはガスレンジのおもちゃを置いたそばに包丁を持ってきて、ピーマンのおもちゃを切っている。レンちゃんが見ていて、ココミちゃんの包丁を取ろうとする。保育者が別の包丁をレンちゃんに渡すと、レンちゃんはココミちゃんの隣で、包丁で切る真似をする。</p> <p>ユナちゃんがミニちゃんのぬいぐるみを持って靴箱の近くを歩いていると、ハナちゃんがぬいぐるみをパッと取って窓のところに走っていく。ユナちゃんがハナちゃんのことを追いかけていくと、ハナちゃんは投げるようにぬいぐるみを手放す。ユナちゃんは拾ってまたすぐに靴箱のそばに戻る。保育者が「今度から、『貸して』って言おうね」とハナちゃんに声をかけると、ハナちゃんはずなずい</p> |

11:00

て小さな声で「カーレーて」と言う。

イツキちゃんが、棚のそばに椅子を運んできて棚の上のにぼる。マナちゃん、レンちゃん、サクラちゃんも来てのぼる。イツキちゃんは、下りられず「あー」と言って下りるのを止める。そのうちレンちゃんが、腹ばいになって下りているのを見て自分で下りられた。

ソラちゃんとヒロちゃんが、並んで木のレールをつなげて汽車のおもちゃを走らせる。トモちゃんもやってきて、並んで汽車を走らせる。そのうち長くつないだレールが外れてしまい、ソラちゃんが全部つなぎ直す。

ハルトちゃんが窓のそばで、レゴブロックを縦にはめている。ヨウちゃんが部屋中に散らばったおもちゃの中からレゴブロックを探しては、ハルトちゃんに手渡す。ハルトちゃんは、受け取ったものをどんどん高くはめていた。

イツキちゃん、マナちゃん、サクラちゃんがトイレに入って洗面ボウルのところで三人で鏡を覗いたり、蛇口をひねってみたりする。

ミサキちゃんは、ボールのたくさん入っている箱を見つけ、一つ一つ手にとって部屋のあちこちに投げる。

アイリちゃんとユカちゃんはリュックを背負って部屋を歩き回る。アイリちゃんはユカちゃんと手をつないで歩きたがるが、ユカちゃんは「いやだ」と言って大きな声で泣き出す。ヒロちゃん、ヨウちゃん、ユナちゃんが来て、ユカちゃんの頭を撫でる。しばらくしてユカちゃんが泣きやみ、二人で手をつないで歩く。

ミサキちゃんのそばにココミちゃんがやってきて、「あすなちゃん、いっしょにあそぼ」と声をかける。ミサキちゃんは何も言わないが、ココミちゃんが歩き始めると後をついて行く。ココミちゃんが椅子を一行に並べ始めると、ミサキちゃんはそこに猫のぬいぐるみを座らせようとする。椅子の列の先頭にアキちゃんが来て座る。そのすぐ後ろの椅子にコウちゃんが座り、アキちゃんの両肩に手をかける。アキちゃんは、振り返ってコウちゃんを見てニッコリする。ミサキちゃんが置いたぬいぐるみをどけてユナちゃんが座る。ヨウちゃんがやってきて椅子をさらに並べ、一行に並べきれなくなったので二列にしてコウちゃんの隣に座り、お互いに顔を見合わせてニコニコ笑う。アイリちゃんも来て座り、窓のところの大積木のにぼって外を見ていたユカちゃんに「ユカちゃーん」と手をふる。ユカちゃんが気づいて「アイリちゃーん」と手をふり返す。

大積木の上のユカちゃんのところに、アキちゃんとハナちゃん、マナちゃんも行って大積木のにぼる。アキちゃんが三段に積んだ大積木の上から飛び降りるのを繰り返す。ハナちゃんが見ている、アキちゃんと同じところから飛び降りようとするができない。ゆっくり二段分を下りてから、最後の一段から飛び降りる。トモちゃんもミニカーを持ってやって来て大積木の上のにぼり、窓の棧のところでミニカーを走らせる。

ソラちゃんはレゴブロックの板に、いろいろな色や形のブロックを平たく並べている。それをそばで見っていたココミちゃんが別のレゴブロックの板を持ってきてソラちゃんの横に座り、赤いブロックだけを選んで板の上にはめる。

イツキちゃんとヒロちゃんは、棚のにぼって室温計を触ってみて、笑いながら飛び跳ねる。

12:00

チャイムが鳴り、お母さん達が帰ってきた。



おねがい



- ・後、一回になりますが、ジャンパーなど上着に名前を書いてください。
- ・弁当箱など小さなものにも名前を書いてください。